

総合計画／実施計画書
兼事務事業評価シート

事業期間 H21 ~ H23

担当部局	部局名	企画部
	課室名	文化振興室

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）

基本施策ID		基本施策名	
5-2-2		多彩な芸術・文化交流を育み、新たな地域文化を創造し、情報発信する	
重点施策ID		重点施策名	
5-2-2-3		朝倉文夫記念館などの適切な運営	

2. 事業名等

事業名	朝倉文夫記念文化ホール自主事業	事業区分	(2)	①新規 ②継続 ③その他 ()
細事業名		実施形態	(1)	①毎年 ②隔年 ③その他 ()
事業主体	市		(1)	①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務			④その他 ()
実施期間	平成17年度 ~ 平成23年度		根拠法規	愛の園生朝倉文夫記念公園条例
各種の計画への反映（=根拠計画）			事業ID	

3. 事業の内容等

事業の背景	補助事業	名称	
朝倉文夫記念館では朝倉文夫作品の常設展示を行い、朝倉文夫の功績・作品の公開を行っている。しかし、彫刻は美術の一部であり美術は絵画を始め版画・彫刻・デザイン等多岐にわたっている。彫刻を主体とした展示では美術館としての広がりが期待できないので、併設されている文化ホールで絵画・工芸等の展覧会を行い、美術館として市民に様々な美術鑑賞機会を提供していく。	補助率	国 県 その他 1/ 1/ 1/	
	起債の種類	①	
		②	
		③	

事業の目的及び対象

【目的】 朝倉文夫記念文化ホールで自主事業を行うことにより、市民への美術鑑賞の機会を提供し、美術に対する感性を醸成する。	事業概要	
	○ 大分県内外で意欲的に創作活動を行い、高い評価を得ている作家・グループの個展を数回開催する。 ○ 市内はもとより県内のアマチュア作家の作品発表の場としてのコンクール型美術展を行う。	
【対象】 市民	前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容
	E 維持	

4. 予算・決算の状況

財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23~
予算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	909	443	589	434	500	500	500
	一般財源	774	2,844	3,568	3,258	3,000	3,000	3,000
計		1,683	3,287	4,157	3,692	3,500	3,500	3,500
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他	909	443	589	434			
	一般財源	774	2,844	3,568	3,258			
計		1,683	3,287	4,157	3,692			

5. 実績及び達成目標等

過去3年間の事業実績と課題

平成18年度		平成19年度		平成20年度		課題	
【実績】 自主事業回数 6回 入場者数 3,262人		【実績】 自主事業回数 8回 入場者数 5,040人		【実績】 自主事業回数 6回 入場者数 2,664人		毎年6~8回の展覧会を実施しているが、1事業あたりの入場者が増えることが、年間入場者数の増につながる。そのためのより良質な事業選定が必要となる。	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値

活動指標	朝倉文夫記念文化ホールでの自主事業の開催回数						単位 人
効率指標	-						
成果指標	自主事業開催時の来場者数						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別	来場者	来場者	来場者	来場者	来場者	来場者	
目標値				2,664	4,000	3,000	
実績値	7,213	3,262	5,040	2,664			
達成率				100.0%			
備考							

総合計画／実施計画書
兼事務事業評価シート

評価対象年度 H20 年度

評価実施年度 H21 年度

担当部局	部局名 課室名	企画部 文化振興室
------	------------	--------------

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	事業を実施することにより、市民に多彩な美術の鑑賞機会を提供し文化意識の高揚を図ると共に、感性豊かな子どもたちの育成に寄与する。					
行政の與	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを供給できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	収益性が非常に低いので民間主導では不可能に近い。N P O等に実施を任せるにも適当な団体はない。従って行政でしか事業実施ができない。					
手段の妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	県内美術界に広く人脈を持つ館長を配置し、レベルの高い作家の個展等を精力的に実施し、市民に良質な展覧会をローコストで提供できている。					
事業の効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	自主事業での個展はレベルの高い作家が多く、安価な入場料で良質の展覧会を鑑賞できている。また、事業を通じて作家間の交流も起りつつある。					
事業の予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	自主事業の実施にあたっては、市が負担する経費はチラシ・看板作成・市報等の掲載及び小額の謝礼であり、輸送費は個展を実施してもらう作家に負担してもらっており、最低と思われる経費で運営しており、1展あたりの現経費は今後も必要である。					
人体制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	4	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	自主事業に加え大分アジア彫刻展の事務も行っているため、現状の人員では朝倉文夫の調査研究もままならず、削減は困難な状況である。					
事業規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	充実した自主事業を行うことで、市民の暮らしの中に溶け込んだ美術館として存在価値を高めていくことが必要である。また、豊後大野市民の連帯意識の高揚を図るため、事業を維持継続していく必要がある。					
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。					
部長	課長	班長	担当者	内線 E-mail @bungo-ohno.jp		